

安全データシート

作成: 2011年 8月22日

改訂: 2025年 8月20日

1. 製品及び会社情報

整理番号	: KF103-06
製品名	: コサイド3000
会社名	: クミアイ化学工業株式会社
住所	: 東京都台東区池之端 1-4-26
担当部門	: サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号	: 03-3822-5180
FAX番号	: 03-3823-6830
緊急連絡先	: 平日 午前9時～午後5時 (電話番号03-3822-5180)
推奨用途	: 農薬
使用上の制限	: 推奨用途以外への使用を禁ずる。

2. 危険有害性の要約

「2. 危険有害性の要約 ～ 15. 適用法令」の項目については、次ページ以降の「三井物産株式会社発行の安全データシート(改訂日 2025/08/07 コサイド(R) 3000)」を参照してください。

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取扱いを対象としたものであり、特別な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献:

- 1) 三井物産株式会社 コサイド 3000 安全データシート(2025年8月7日改訂版)

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大阪(年中無休、24時間) 一般市民向け相談電話(無料) 072-727-2499

医療機関専用有料電話 072-726-9923

つくば(年中無休、24時間) 一般市民向け相談電話(無料) 029-852-9999

医療機関専用有料電話 029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。

作成日 2023/09/28
改定日 2025/08/07

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	コサイド(R)3000
供給者の会社名称	三井物産株式会社
住所	東京都千代田区大手町1丁目2-1
担当部門	アグリサイエンス事業部
電話番号	03-3285-1111
FAX番号	03-3285-7772
緊急連絡電話番号	03-3285-1111
推奨用途	農薬製剤

2. 危険有害性の要約
化学品のGHS分類

健康有害性	急性毒性(経口) 区分4 急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) 区分2 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1 生殖細胞変異原性 区分2 発がん性 区分1A 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(消化管) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(呼吸器) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(腎臓 免疫系)
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性) 区分1 水生環境有害性 長期(慢性) 区分1 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	飲み込むと有害 重篤な眼の損傷 吸入すると生命に危険 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性 遺伝性疾患のおそれの疑い 発がんのおそれ 消化管の障害 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害 長期にわたる、又は反復ばく露による腎臓、免疫系の障害のおそれ

注意書き
安全対策

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

環境への放出を避けること。

応急措置	<p>呼吸用保護具を着用すること。 使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。 飲み込んだ場合、気分が悪いときは医師に連絡すること。 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 直ちに医師に連絡すること。 口をすすぐこと。 漏出物を回収すること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手当てを受けること。 気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。</p>
保管	<p>容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。</p>
廃棄	<p>施錠して保管すること。 内容物、容器を国、都道府県又は市町村の規制に従って廃棄すること。 専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</p>

3. 組成及び成分情報
 化学物質・混合物の区別

混合物

別名 KOCIDE OPTI, GX-569

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS登録番号
			化審法	安衛法	
水酸化第二銅	46.1%	非開示	既存	既存	20427-59-2
アクリル酸重化合物	21%	非開示	既存	既存	9003-01-4
石英	0.1~1%	非開示	既存	既存	14808-60-7
その他	31.9~32.8%	—	—	—	—

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

化審法	優先評価化学物質(法第2条第5項)	アクリル酸重化合物(政令番号:234)
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)	結晶質シリカ(政令番号:165の2)(10%未満)

銅及びその化合物(政令番号:379)
(40%~50%)

がん原性物質(安衛則第577条
の2第3項、令和4年12月26日
告示第371号、令和4年12月2
6日基発1226第4号)

結晶質シリカ(10%未満)

特定化学物質の環境への
排出量の把握等及び管理
の改善の促進に関する法
律

第1種指定化学物質(法第2条
第2項、施行令第1条別表第1)

アクリル酸重合体(政令番号:565)
(21%)

4. 応急措置

吸入した場合

直ちに医師に連絡すること。

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸し
やすい姿勢で休息させること。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手
当てを受けること。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受
けること。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手
当てを受けること。

眼に入った場合

直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次
に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる
場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手
当てを受けること。

飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診察、手
当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火剤、二酸化炭素、散水、一般の泡消火
剤。

使ってはならない消火剤

棒状注水。

火災時の特有の危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含ま
れるので、消火作業の際には、煙の吸入を避け
る。

特有の消火方法

消火作業は、風上から行う。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに
安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁
止する。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

呼吸用保護具を着用すること。

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク
など)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 呼吸用保護具を着用すること。
 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
 必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項 漏出物は回収すること。
 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 漏出したものを掃き集めて紙袋またはドラムなどに回収する。

二次災害の防止策 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
 滑って転倒する事故を引き起こす可能性があるため、製品の拡散を避ける。
 漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
	安全取扱注意事項	環境への放出を避けること。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
		呼吸用保護具を着用すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
保管	接触回避 衛生対策 安全な保管条件	使用前に取扱説明書を入手すること。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 取扱い後はよく手を洗うこと。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
		施錠して保管すること。 安全な容器包装材料 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会	ACGIH
水酸化第二銅	未設定	未設定	未設定
アクリル酸重合化合物	未設定	未設定	未設定
石英	未設定	【粉塵許容濃度】(吸入性結晶質シリカ)0.03mg/m3	設定あり 参照先: https://www.acgih.org/
その他	未設定	未設定	未設定

設備対策 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具 呼吸用保護具 呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具 保護手袋を着用すること。
 眼、顔面の保護具 保護眼鏡、保護面を着用すること。
 皮膚及び身体の保護具 保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態		固体
形状		固体、粒状
色		青
臭い		銅独特の臭い
融点／凝固点		データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲		データなし
可燃性		データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	下限	データなし
	上限	データなし
引火点		データなし
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		7.5～9.5 (1%溶液)
動粘性率		データなし
溶解度		水に分散する
n-オクタノール／水分配係数(log 値)		データなし
蒸気圧		0 mmHg (25°C)
密度及び／又は相対密度		データなし
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性		情報なし
化学的安定性		推奨される保管条件下では安定である。
危険有害反応可能性		通常の処理では危険有害反応はない。
避けるべき条件		反応性物質の近くでの保管を避ける。 140°Cを超える温度を避ける。
混触危険物質		強酸
危険有害な分解生成物		熱分解により、刺激性の有毒なガスや蒸気が発生する可能性がある。 酸化銅。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	区分4:水酸化第二銅(変換値=500mg/kg 出典:1272/2008/EC (CLP)) 区分に該当しない:アクリル酸重合化合物(毒性値=2500mg/kg 出典:NITE) 分類できない:石英(出典:NITE), その他
	経皮	計算結果が885.6858847mg/kgのため、区分4に該当する。
	吸入	分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。 (急性毒性(吸入:気体))

GHS定義による気体ではない。

(急性毒性(吸入:蒸気))

分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。

(急性毒性(吸入:粉じん、ミスト))

区分2:水酸化第二銅(0.47mg/l 出典:1272/2008/EC (CLP))

計算結果が0.0565076mg/kgのため、区分2に該当する。

皮膚腐食性/刺激性

分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。

眼に対する重篤な損傷性
/眼刺激性

区分1:水酸化第二銅(出典:1272/2008/EC (CLP))

眼区分1の成分合計が濃度限界(3%)以上のため、区分1に該当。

呼吸器感作性

分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。

皮膚感作性

分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。

生殖細胞変異原性

区分2:石英(出典:NITE)

石英 $\geq 1\%$ のため、区分2に該当。

発がん性

区分1A:石英(出典:NITE)

区分2:アクリル酸重化合物(出典:NITE)

石英 $\geq 0.1\%$ のため、区分1Aに該当。

生殖毒性

(生殖毒性)

分類結果は区分に該当しないが、毒性未知成分を含有するため分類できない。

(生殖毒性・授乳影響)

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(単回
ばく露)

区分1:硫酸ナトリウム(臓器=消化管 出典:NITE)

硫酸ナトリウム $\geq 10\%$ のため、区分1(消化管)に該当。

特定標的臓器毒性(反復
ばく露)

区分1:石英(臓器=呼吸器、腎臓、免疫系 出典:NITE), アクリル酸重化合物(臓器=呼吸器 出典:NITE)

アクリル酸重化合物 $\geq 10\%$ のため、区分1(呼吸器)に該当。

石英 $\geq 1\%$ のため、区分2(呼吸器, 腎臓, 免疫系)に該当。

区分2:石英(呼吸器)は、上位区分の区分1:アクリル酸重化合物(呼吸器)へ纏めた。

誤えん有害性

データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)

区分1:水酸化第二銅(出典:1272/2008/EC (CLP))

区分1×毒性乗率が濃度限界(25%)以上のため、区分1に該当。

水生環境有害性 長期(慢性)

区分1:水酸化第二銅(出典:1272/2008/EC (CLP))

残留性・分解性
生体蓄積性
土壌中の移動性
オゾン層への有害性

区分1×毒性乗率が濃度限界(25%)以上のため、
区分1に該当。

情報なし
情報なし
情報なし
データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

内容物、容器を国、都道府県又は市町村の規制に
従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並
びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行
う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去す
ること。

14. 輸送上の注意

国際規制

Regulatory Information by Sea	Complied with IMO.
UN No.	3077
Proper Shipping Name	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S.
Class	9
Packing Group	III
Marine Pollutant	Applicable
Transport in bulk according to MARPOL 73/78, Annex II, and the IBC code	Not applicable

国内規制

Regulatory Information by Air	Complied with ICAO/IATA.
UN No.	3077
Proper Shipping Name	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S.
Class	9
Packing Group	III
陸上規制	非該当
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
国連番号	3077
品名	環境有害物質(固体)
国連分類	9
容器等級	III
海洋汚染物質	該当
MARPOL73/78附属書II及びIBCコード	非該当
によるばら積み輸送される液体物質	
航空規制情報	航空法の規定に従う。
国連番号	3077
品名	環境有害物質(固体)

	国連分類 等級	9 III
特別の安全対策		輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。
緊急時応急措置指針番号		171

15. 適用法令

化学品にSDSの提供が求められる3法令の該非	
労働安全衛生法(通知対象物質)	該当
毒物及び劇物取締法(毒物・劇物)	非該当
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	該当
適用される主たる国内法令	
化審法	優先評価化学物質(法第2条第5項)(アクリル酸重合物)
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)(結晶質シリカ、銅及びその化合物) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)(結晶質シリカ、銅及びその化合物) がん原性物質(安衛則第577条の2第3項、令和4年12月26日告示第371号、令和4年12月26日基発1226第4号)(結晶質シリカ)
農薬取締法	該当
水質汚濁防止法	指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)(銅及びその化合物)
大気汚染防止法	有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質(中央環境審議会第9次答申)(銅及びその化合物)
船舶安全法	有害性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法	その他の有害物件(法第86条第1項、施行規則第194条、昭和58年11月15日告示第572号・別表第1)
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)(アクリル酸重合物)

16. その他の情報

連絡先	三井物産株式会社
参考文献	NITE GHS分類公表データ EU CLP Regulation, AnnexVI

免責事項

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。

又、注意事項は、通常取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。